

令和 6 年度外部評価委員会議事録

R6.10.29(火)13～ 4 階庁議室

○事務局：定刻がまいりましたので、只今より、令和 6 年度泉佐野市指定管理者制度評価委員会を開催させていただきます。私、市長公室行財政管理課の反甫です。よろしくお願いいたします。それでは、開会に先立ち、真瀬副市長よりご挨拶申し上げます。

○副市長：ただ今、ご紹介のありました、副市長の真瀬でございます。本日は、皆様におかれましては、公私ともご多忙のところご出席を賜り、誠にありがとうございます。また、重ねて、本委員会の委員をお願いさせていただきましたところ、快くお引き受けいただきましたこと、厚く御礼申し上げる次第でございます。

さて、本市におきましては、民間のノウハウを活用し、経費削減やサービス向上につなげるため、平成 18 年度より、市の公共施設において指定管理者制度の導入を図ってきており、現在は 23 施設で指定管理者による管理運営を行うに至っております。この制度は、行政が管理してきた施設を株式会社や NPO など民間団体が広く担うことができるようにしたものであり、制度が有効に作用すれば、経費削減やサービス向上にもつながりますが、その一方で、市民の財産でもあるこれらの施設を担う指定管理者が、適正に施設を管理できているのか、十分なサービス提供を行っているのかなど、しっかりとチェックする必要があります。

そういったことから、市においては、それぞれ施設の指定管理の状況について、指定管理者より出された実績報告などをもとに行政内部において評価を行っております。そして、指定管理期間 5 年のうちに 1 度、外部委員の方々による指定管理制度評価委員会を開催し、評価を行うこととしております。今年度の対象となる施設について、行政の外部の視点から評価していただき、その結果を指定管理者に示し、業務の改善、サービス向上を促すとともに、今後の指定管理者選定にも、その内容を盛りこむことにより、よりよい制度運営を図ってまいりたいと考えておりますので、委員の皆様方のご協力をお願いいたします。

以上、本委員会の開催にあたりまして、簡単ではありますが、平素の皆様方の市政に対するご理解、ご協力にお礼申し上げ、ごあいさつとさせていただきます。どうぞよろしくお願い申し上げます。

○事務局：それでは、まずは、資料の確認をさせていただきます。

委員の皆様方におきましては、事前にお配りさせていただいております、A4 縦の資料 1 評価委員会要綱、A4 縦の資料 2 管理運営の評価指針、そして、A4 横の資料 3 評価書一覧表、そして A4 縦の資料 4 各施設評価シート 18 ページの綴り、A4 横の資料 5 評価点の主な理由 4 ページの綴り、それと資料 6 A4 横の年度別比較表、それから資料 7 各施設参考資料集の冊子でございます。もし、本日、お持ちでなければ、おっしゃっていただければ、お渡しいたします。

まずは、本委員会の設置についてご説明いたします。資料1をご覧ください。泉佐野市指定管理者制度評価委員会要綱、これは、本委員会の設置根拠となるものでございます。第1条にございますように、公の施設の指定管理者について、適正かつ確実な管理運営を確保するとともに、指定管理者の業務改善及び市民サービスの向上に資するため、管理運営状況についての評価を実施する指定管理者制度評価委員会を設置することとさせて頂いております。

なお、委員会要綱第3条第3項に基づきまして、委員長にはこちらにいらっしゃいます竹内先生にお願いしております。組織としましては、委員会は委員10名以内ということで、本日は5名の委員の皆様に委嘱をさせて頂きまして、お越し頂いております。委員長につきましては、委員のうちから1名を市長が任命するということとなっておりますので、竹内委員長にお願いさせて頂いております。続きまして、各委員の方々のご紹介をさせて頂きます。改めまして、大阪体育大学教授の竹内委員長でございます。

○委員長：皆さんこんにちは。今回委員長を務めさせていただくこととなりました竹内でございます。改めまして、よろしくお願いいたします。

本日は、指定管理者が市の指定する業務を適切に行っているか、あるいは独自の取り組みでサービスを充分提供できているのかどうか、そういった部分を行政の内部だけではなく、市民の立場、あるいは外部の立場から公平・公正に評価を行う場となっております。

お互いに忌憚のない意見を出し合っていただきまして、よりよい会議にしていきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。簡単ではございますが、ごあいさつとさせていただきます。

○事務局：弁護士の向井太志委員でございます。

○委員：向井でございます。よろしくお願いいたします。

○事務局：公認会計士の浅沼由希子委員でございます。

○委員：浅沼でございます。よろしくお願いいたします。

○事務局：泉佐野おやこ劇場代表の明松由美委員でございます。

○委員：明松でございます。よろしくお願いいたします。

○事務局：泉佐野市町会連合会会長の松浪雅彦委員でございます。

○委員：松浪でございます。よろしくお願いいたします。

○事務局：次に、市の出席者の紹介をさせていただきます。改めまして、副市長の真瀬でございます。

○副市長：真瀬でございます。よろしくお願いいたします。

○事務局：市長公室長の高橋でございます。

○市長公室長：高橋でございます。よろしくお願いいたします。

○事務局：事務局として行財政管理課長の河野でございます。

○行財政管理課長：河野でございます。よろしくお願いいたします。

○事務局：同じく係員の本下でございます。

○行財政管理課係員；木下でございます。よろしくお願いいたします。

○事務局：そして、わたくし反甫でございます。それではこの後議事に入ります前に、今回評価対象となっております施設について、どのような施設か、既にご存知の委員様もいらっしゃるかもしれませんが、これまでの委員会でも事前に施設を見ていただきイメージしやすいとのご意見も頂戴しておりましたので、今回の対象施設の 4 箇所の泉佐野市立文化会館、泉佐野市立生涯学習センター、泉佐野市立自転車等駐車場、泉佐野市立上之郷コミュニティセンターについて、現地へ赴いてご覧いただいたのちに、議事に入らせていただきたいと存じます。それでは、皆様で移動していただき、順にみていきたいと思います。正面玄関に車を用意しておりますので、よろしくお願いいたします。

【文化会館・生涯学習センター、自転車等駐車場、上之郷コミュニティセンターを現地視察】

（各施設の現地視察終了後、4 階庁議室へ戻る）

○事務局：それでは皆様、よろしいですか。お足元の悪い中、4 施設見て回っていただきありがとうございました。それではこれから議事に移らせていただきますが、以後、進行について委員長にお願いいたします。

○委員長：それでは議事の方を始めさせていただきます。議事をはじめる前に、本委員会の情報公開について、説明を求めます。

○事務局：本市では、市政に対する市民の理解、また、市民との信頼を深めることを目的といたしまして、審議会や委員会などの会議につきましては、個人に関する情報などを審議する場合を除きまして、原則公開としております。本委員会も、傍聴できる旨をホームページにてアナウンスしております。また、会議の記録を作成いたしまして、ホームページ上にのせる予定としております。なお、今回は個人名ではなく、委員長、委員、事務局、施設担当課として発言要旨をまとめたいと考えております。

○委員長：ありがとうございます。委員の皆様、ただ今の説明でよろしいでしょうか。何か確認等ありませんでしょうか。ありがとうございます。

続きまして、本日の評価の流れ、対象施設、評価の内容についての説明を求めます。

○事務局：それでは、流れについて説明いたします。「資料 2」をご覧ください。指定管理者制度導入施設の管理運営の評価指針で 2 評価の流れについて中段にありますフローチャートをご覧ください。

まず、指定管理者による自己評価が事業報告書や満足度調査とともに施設担当課の方に報告されます。次に、施設担当課で、それらを分析し、評価し、コメントを記入します。

これを受けて、副市長及び各施設担当部長から構成する市内部組織であります指定管理者制度審査委員会において、総合的に判断し市の評価として決定いたします。そして、行政の外部の方々を委員としております本指定管理者制度評価委員会による外部評価を受けて、

最終的には議会に報告をします。

また、具体的な評価については、2 ページの上段の表にありますように、各評価項目においての評価の視点を踏まえ、次の 4 評価ランクにありますように、仕様書などを上回っていますと、特に優れているということで「5」の評価、仕様書などをやや上回っていますと、優れているということで「4」の評価、仕様書どおりですと良好であるということで「3」の評価、仕様書などをやや下回っていますと、一部、良好でないということで「2」の評価、仕様書などを下回っていますと良好でないということで「1」の評価、という 5 段階の表記で評価をおこないます。

続いて、資料 3、評価一覧表をご覧ください。これは、本委員会において外部評価をしていただく対象施設 4 箇所についての一覧表となっております。後ほど説明いたしますが、各施設評価シートを取りまとめた表でございます。この一覧表のつくりでございますが、それぞれの指定管理施設ごとに番号をふってございます。その右に担当課名、施設名、指定管理者名称、選定方式、評価区分で、自己評価とは指定管理者の自己評価で、市の評価は、先ほど申し上げました、市内部組織の指定管理者制度審査委員会で決定した市の評価となっております。評価は運營業務、維持管理、利用状況、収入状況、収支状況、運営体制、独自の取組で 7 つの区分毎に 1～5 までの評価を入れ、評価結果は総合評価になり、7 つの区分の平均値を四捨五入により整数値としたものでございます。各項目の評価ランクでございますが、先ほど評価の流れでもご説明しましたように、5 段階のうち 3 が良好で概ね仕様書どおり、また 4 は優れている。5 は特に優れている。逆に 2 は一部良好でない、1 は良好でないというランクでございます。今回の市の評価結果としましては、3 の評価が 2 施設、4 の評価が 2 施設でございました。各施設の一番下の欄は、前回の外部評価、平成 30 年度と令和 2 年度の総合評価となります。

次に、資料 4 は、各施設の評価シートでございまして、今の一覧のものと内容となるものでございます。例として 1 ページめくっていただきまして、先ほどの 7 つの区分に対応する評価が右の欄にございます。左から、指定管理者の自己評価、次に市の評価、その次は、本委員会で決定した評価が入ることとなります。

2 ページの下段をご覧くださいまして、①市の評価とありますが、こちらは、市の総合評価と所見を記載しております。その下の②指定管理者制度評価委員会の評価は本委員会での評価結果を最後に入れるかたちとなります。以下、各施設について、同様の様式で続いております。

次に、資料 5 評価シート別冊「評価点の主な理由」につきましては、7 つの評価区分の自己評価、市の評価についてそれぞれ、その評価点を入れた理由について記載した表でございます。例として 1 ページをめくっていただきまして、上段に 4 つ、下段に 3 つの評価区分を掲載しております。各区分の上から、自己評価点、評価点の理由、その下に施設管理課の自己評価となっておりますが、これはイコール市の評価となっております。その評価点と理由が記載されております。その下の欄には、指定管理者の評価と市の評価が異なる

る場合に、その理由が記載されております。以下、各施設について4箇所分つづいております。これらは、委員の皆様が評価を決定する際の参考としていただければと思います。次に、資料6の一覧表につきましては、各施設の過去の評価や利用者数や収支状況など主な数値的なデータを並べたものでございます。

また、資料7としまして、冊子にしておりますのは、各施設の仕様書や協定書の事業報告などの写しとなっております。こちらも、評価内容を確認する際の参考資料としてつけていただいたものでございます。

評価の流れ、対象施設、評価の内容についての説明は以上になります。

○委員長：ありがとうございました。ここまででご質問などはございませんでしょうか。それでは、会議の進め方ですが、施設ごとに事務局から市の評価の説明を受けた後、皆様方からご意見を頂戴しまして、委員会としての評価ランクを7つの区分の評価項目について1つずつ確認をさせていただくといった形で進めたいと思います。このような形でよろしいでしょうか。

それでは、泉佐野市立上之郷コミュニティセンターから説明をお願いいたします。

【泉佐野市立上之郷コミュニティセンター】

○事務局：それでは、今年度外部評価対象施設について、1箇所ずつご審議をお願いしたいと思います。「資料3」の「評価書一覧表」の一番目、「資料4」の1ページ～2ページ、「泉佐野市立上之郷コミュニティセンターの評価シート」と「資料5」の「評価点の理由一覧」1ページをご覧ください。また、「資料6」では、上の表が上之郷コミュニティセンターのものでございますので、こちらもご参考にしてください。

この施設は、上之郷地区にある地域のコミュニティの活性化を促進することを目的とした施設となっており、令和2年4月の開設から令和3年度末までの2年間は市による直営で、令和4年度から指定管理による管理運営となっております。今回の外部評価が1回目となります。現在の指定期間は令和4年度～令和8年度の5年間で、今回は、令和4年度からの3年目ということで外部評価対象となっております。

全体として、自己評価と市の評価の不一致はございません。それでは個々の項目を説明いたします。

まずは、資料4の1ページ

①a 施設の運営業務では、センター内の講座室、会議室、料理室の貸館業務や来館者への対応が主なものとなっており、自己評価、市の評価ともに「3」としております。

①b 施設の維持管理業務では、法令・仕様書に基づきエレベーターなどの設備保守点検や館内及び施設周辺の清掃、衛生管理を適切に行っており、自己評価、市の評価ともに「3」としております。

②利用状況では、令和5年度の貸館利用は件数838件(対前年度234件増)、利用者数6,624人(対前年度904人増)となっており、増加の主な要因はバレー教室などの新規講座が増えた

ことによるものとなっております。評価としては自己評価、市の評価ともに「3」としております。

③a 収入状況では、主な収入源は指定管理料と貸館収入となっており、貸館収入は対前年度 145,420 円増となっております。こちらは、利用状況でもありましたバレエ教室などの新規講座が増えたことによるものとなっております。評価としては自己評価、市の評価ともに「3」としてしております。

③b 収支状況では、収入が増えておりますが、対前年度 19,692 円減となっております。こちらは、業務用 P C が故障したため、新たに 2 台購入したことによるものです。評価としては自己評価、市の評価ともに「3」としてしております。

2 ページにうつりまして、

④運営体制では、仕様書に基づき日中は常時 2 名、夜間は 1 名を配置しており、施設の利用状況により適時増員しております。評価としては自己評価・市の評価ともに「3」としてしております。

⑤独自の取組状況では、交通弱者救済と地域コミュニティの活性化を目的として、毎週金曜日にコープの移動販売車誘致や広報活動として広報誌(コミセンだより)を発行しております。評価としては自己評価・市の評価ともに「3」としてしております。

下から 2 段目、①市の評価は、7 項目中 7 項目で「3」の評価となりまして、平均値の整数値として、総合評価は「3」となります。所見欄のコメントですが、読み上げますと、「利用者数も順調に伸びており、利用者のアンケートで概ね高い評価を得ている。前年のアンケートで寄せられた声に応える形でイベントを開催し、好評を得た。イベントは継続して開催し、地域コミュニティの活性化に寄与していただきたい」としてしております。以上が「泉佐野市立上之郷コミュニティセンター」についての説明となります。

○委員長：ありがとうございました。それでは「泉佐野市立上之郷コミュニティセンター」についての説明は終了しましたが、ご質問等ございますでしょうか。

○委員：質問ではなく確認になりますが、現地訪問しましたら郵便局や医療機関がありましたが、その賃料は市が直接収入しているのでしょうか。そのような理解でよろしいでしょうか。

○自治振興担当理事：目的外使用料として頂戴しておりまして、市の収入となっております。

○委員：資料 4 の評価シートを見たところ、委託管理料と施設の収入とがあまり差がないものとなっておりますので、あの賃料はどこに入っているのかと思いました。

○自治振興担当理事：市の収入として入っております。

○委員：分かりました。たしか現地の方でも指定管理外であるという説明があったと思います。

○委員長：他にお気づきの点などございますでしょうか。

○委員：上之郷コミュニティセンターがあることもあまり知らなかったもので、今回事前にインターネットで調べました。その中で一つ気になったことが、ホームページを開設しまし

たというのが2022年に書かれてあったのですが、その後の更新が見られなかったことです。今日視察しましたら、行事のチラシ等もしっかり作成されているのであれば、それらを随時アップしていくことでもっと広範囲に渡って活動内容を発信できるのではと思いました。あまり啓発等もできていないのであれば仕方ないと思うのですが、もっとあれば良いと思いました。

○自治振興担当理事：指定管理を受けていただいた当初にホームページを開設するという話がありました。その後に私も何度かホームページ更新されてないですよと話をしておりますが、なかなかお忙しいようで更新が間に合っていない状況です。委員様からご指摘があったということで、随時更新するように申し伝えておきます。申し訳ございません。

○委員長：ありがとうございます。他によろしいでしょうか。クリニックとの話でありましたけれども、指定管理と切り離しているという理解をしていますが、まったくもって関係性がないということも違和感があります。例えば患者さんが元気になってイベント等に足を運んでもらうようにクリニックの方から案内してもらおう等はあるのでしょうか。

○自治振興担当理事：ご利用されているのが圧倒的に上之郷地区の高齢者の方が中心でございます。指定管理者も上之郷の地元の方をお願いしており、顔見知りの方とのコミュニケーションは常にあり、指定管理者の方からもクリニックの利用をお勧めいただいたり等行っております。指定管理とは切り離していますが、まったく何も関わりがないという状況にはなっておりません。

○委員長：お互いに活性化できているということでしょうか。

○自治振興担当理事：お互いに連携しながら運営してもらっているというイメージです。

○委員長：小さい地区であるからこそできることなのかなと思います。ユニークな取り組みだと思います。他になにかございますでしょうか。

○委員：資料の3の一覧表を見たときに、上之郷コミュニティセンターだけ委託先の選定が随意選定になっているのですが、これらの経過経緯はあるのでしょうか。

○自治振興担当理事：今日ご覧いただいた施設なのですが、従来の上之郷地区の町会館と上之郷地区の消防団の施設を併設した施設という形で計画が始まっております。利用について貸館もしていますが、圧倒的に町会の利用が多いような状況でございます。建設当初から竣工した後の維持管理につきましては、地元密接した施設という位置づけでございますので、地元の町会の方で運営していただくという話で進んでいたという風に聞いております。ただ町会になりますと町会の役員さんというのが概ね1年から2年で変わっていくということがございますので、なかなか事務の継承というのが難しいという点から、町会の役員経験者が中心となってNPOを立ち上げられ、そちらの方が指定管理者の受け皿となっており、お願いしております。もちろん町会さんの方にもコミラボさんの方に指定管理をするということは合意をいただいております。

○委員長：ありがとうございます。他によろしいでしょうか。それでは質疑応答を踏まえまして、1項目ずつ委員会の評価について皆様の意見をいただきながら決定をしていきたいと

思います。

資料4の1ページにお戻りいただいて、まず①の管理実施状況のところから順番に進めていきたいと思いますが、施設の運營業務、施設の維持管理業務ともに自己評価3に対して市の評価が3ということになっております。ここで委員会としてどうかということをご意見をいただいた上で数字を入れていきたいと思っておりますが、この件に関しては市の評価通り3ということではよろしいでしょうか。(賛同の声) ありがとうございます。それでは委員会評価としては①のa、bともに3とさせていただきます。

続きまして②利用状況について、こちらも自己評価、市の評価ともに3となっております。こちらについて何かご意見ございますでしょうか。利用者数が増加したということについて、コロナ過が関係していることだとは思いますが、令和4年度との比較であり、それが令和5年で緩和されたために増えたのであれば自然に増えているということだと思います。本当の勝負所は来年以降になってくると思います。私としては3という評価で構わないかと思いますがよろしいでしょうか。(賛同の声) それでは市の評価通り委員会評価も3とさせていただきます。

続きまして③収支状況について、a、bともに自己評価、市の評価が3となっております。こちらに関しましてご意見ございますでしょうか。それでは委員会評価としまして、収入状況、収支状況ともに評価3とさせていただきますがよろしいでしょうか。(賛同の声) ありがとうございます。

続いて2ページに移りまして④運営体制について、人員等の適切な配置、こちらが自己評価3、市の評価3となっております。こちらについてご意見ございますでしょうか。こちらの配置で問題なく3で差し支えないという判定でよろしいでしょうか。(賛同の声) ありがとうございます。それでは委員会評価も3とさせていただきます。

そして⑤その他について、独自の発意による指定管理者提案事業の取組状況ということで、内容についてはご覧いただきながら自己評価3、市の評価3という判定となっております。その点につきまして何かございますでしょうか。それでは委員会評価としまして、市の評価と同様3とさせていただきますと思いますがよろしいでしょうか。(賛同の声) ありがとうございます。

それでは利用者の満足度調査等もご確認いただきまして、こちらの方特によろしければ総合評価の方に移らせていただきます。満足度調査につきまして、やや不満が2%とありますが、これは駐車スペースのことでしょうか。

○事務局：その通りです。

○委員長：これはなにか対応してくださっているのでしょうか。

○自治振興担当理事：増設しております。

○委員長：市の評価としまして、所見の通り評価3ということになります。あとは委員会としての評価を同様に3ということではよろしいでしょうか。(賛同の声) それでは総合評価に

つきましても3とさせていただきます。

○事務局：それでは担当課の入替となります。

○自治振興担当理事：ありがとうございました。

○委員長：ありがとうございました。

【泉佐野市立自転車等駐車場】

○委員長：それでは2箇所目の審議に入らせていただきます。「泉佐野市立自転車等駐車場」について事務局より説明をお願いいたします。

○事務局：「泉佐野市立自転車等駐車場」について説明をさせていただきます。次に、「資料3」の「評価書一覧表」上から2番目、「資料4」の3ページ～6ページ「泉佐野市立自転車等駐車場」の評価シートと「資料5」の「評価点の主な理由」の2ページを合わせてご覧ください。また、「資料6」では2段目の表が「泉佐野市立自転車等駐車場」のもので、こちらもご参考にしてください。

この施設は、平成29年度から指定管理期間がはじまった施設で、今回の外部評価は2回目となります。指定期間は令和4年度～令和8年度の5年間で、市内9箇所の自転車などの駐輪場の施設管理運営となっております。今回は、令和4年度からの3年目ということで外部評価対象となっております。全体として、自己評価と市の評価の不一致はございません。それでは個々の項目を説明いたします。

資料4の3ページをご覧ください。

①a 施設の運営業務では、この施設は障害者促進事業として実施しているところですが、仕様書で定められている障害者雇用率65%を達成し、親切丁寧な対応により市への苦情などはほとんどなく適切に運営いただいています。評価しては自己評価・市の評価ともに「3」としています。

4ページにうつりまして、

①b 施設の維持管理業務では、法令・仕様書に基づき保守点検や警備・清掃業務など問題なく適切に実施されており、自己評価・市の評価ともに「3」としています。

②利用状況では、74,627枚(対前年度1,801枚減)となっております。こちらは、安い民間駐輪場ができたことにより、一時利用者が減少(2,183枚減)したことによるものです。一方、定期利用者は増加(382枚増)しております。民間と共存する中で、本来の目的である放置自転車の削減も一定達成できているところから、利用者は減少傾向ではありますが、自己評価・市の評価ともに「3」としています。

③a 収入状況では、この施設では利用料金は市が直接歳入としていますので、収入は指定管理料と雑入となっており、雑収入としては、自動販売機収入となっております。利用者のニーズにあった低価格自販機の設置などにより売上は微減となっております。評価としては、自己評価・市の評価ともに「3」としています。

5ページにうつりまして、

③b 収支状況では、人件費や物価の上昇があったものの、黒字を維持しており、サービスを低下させることなく指定管理料の範囲内で管理運営を行っていただいております、収支は良好であるとして自己評価・市の評価ともに「3」としています。

④運営体制では、仕様書、業務計画の人員数を下回らず、障害者雇用も 65%達成しており、適正な人員配置により円滑な対応であったことから、自己評価・市の評価ともに「3」としています。

⑤独自事業の取組状況では、各地区の催事が行われる際にトイレを無償開放するなど、地域と連携した取組を行っており、適切な状況であるとして、自己評価・市の評価ともに「3」としています。

6 ページにうつりまして、

下から 2 段目、①市の評価は、7 項目中 7 項目で「3」の評価となりまして、平均値の整数値として、総合評価は「3」となります。所見欄のコメントですが、読み上げますと、「通常業務を問題なくこなし、お客様からのクレームに対しても誠心誠意適切に対応し、市に苦情が入ることもほとんどなく、安定した運営管理を行っていました。」としております。以上が「泉佐野市立自転車等駐車場」についての説明となります。

○**委員長**：ありがとうございました。それでは 3 ページにお戻りいただきまして、各項目ごとの委員会としての評価に移らせていただきたいと思いますと思いますが、その前に全体を通してのご質問等ございますでしょうか。

○**委員**：資料 6 の評価対象施設年度別比較表をみますと、令和 5 年度評価と令和 6 年度評価の収支状況で令和 5 年度では 295 万円になっていまして、令和 6 年度では 182 万円と収支状況の悪化が見られますが、こちらはなにか背景等ございますでしょうか。

○**道路公園課担当参事**：泉佐野駅の近くになるのですが、民間さんの無人駐輪施設ができて、おそらくそこを利用されるようになり減少したのではないかと思います。

○**委員**：結構な台数を駐輪できるような施設なのでしょう。

○**道路公園課担当参事**：台数的にはそこまで多くはないのですが、駅から近いということもあり、定期的に通勤等で使われている方がそちらに移ったのではないかと予想していることと、コロナ過の影響でリモートワークが進んだということがあるのではないかと考えているのですが、そこは想像になるのでご了承いただきたいと思います。

○**委員**：指定管理者様にご指摘いただけたらと思うのですが、これからも民間の駐輪場が近隣にできると同じような現象が見えてくると思いますので、そういった場合に利用者数を減少させないためにどのような対策を取っていくのかということ指定管理者様と話をし共有していただけたらと思います。

○**委員長**：ありがとうございます。他に委員の皆様から何かございますでしょうか。

○**委員**：資料の 6 の自転車等駐輪場の過去の実績なのですが、令和 4 年度と令和 3 年度の収入額が 6,300 万強でほぼ同じ、令和 5 年度と令和 6 年度が 7,000 万強でほぼ同じとなっていますが、令和 4 年から令和 5 年にかけて 1 割強の収入増について何か要因はありますか

しょうか。

○**道路公園課担当参事**：こちら想像でしかないのですが、おそらくコロナが5類に移行されてというところで想像はしています。

○**委員**：令和2年からですが、令和元年の数字がこれに近いぐらいの数字となっているのですか。

○**事務局**：R4 評価と R5 評価との収入の差ということでよろしかったでしょうか。

○**向井委員**：そうです。

○**事務局**：こちら R4 評価というのが R3 年度の指定管理期間になりまして、今回指定管理期間が4年度からスタートしておりますので、ここで指定管理料の金額が変わっております。人件費が増加しておりますのでそこを見込んだ数字で4年度からは開始しております。そのため指定管理料が700万程度増加しているということになっています。

○**委員**：それまでは変わっていないですね。

○**事務局**：指定管理料の出が上がっているというところで700万の差が出ているものだと思います。あとは自販機収入で多少の増減はあるかもしれませんが、主なところは指定管理料収入というところになると思います。

○**委員**：その管理料増の理由というのは施設の更新が必要になったことや人件費が足りていないということでしょうか。

○**事務局**：主なところは人件費です。

○**委員**：わかりました。どういうところで増額しているのかということが気になったのでお聞きしました。ありがとうございました。

○**委員長**：ありがとうございます。そこは私も気になっていたところではあるのですが、人件費については最低賃金の問題がありますので避けられないところでもありますし、光熱費や物価の高騰もありますので収支状況に影響が出るのは仕方がないと思います。他に何かご質問等ございますでしょうか。

○**委員**：指定管理者制度評価シートについてですが、この資料を作成しているのは指定管理者様でしょうか。

○**事務局**：指定管理者の方から自己評価としてこのシートがあがってきて、担当課等の方で分析・評価を行い、最終的に市の評価として掲載しております。

○**委員**：②の利用状況についてと③の収支状況について見ていただきますと、予定を上回る場合又は下回る場合はその理由を含めると記載があるので、しっかりと予定がいくらで、それに対する実績がどうであったかというところをきっちり記載いただきまして、上回っているのか下回っているのかをしっかりと確認できるように記載いただきたいと思います。またその理由を分析したうえで記載いただきまして、それをもって所管課の方で確認していただくという体制を取っていただきたいと思いました。

○**委員長**：ありがとうございます。その他ご意見等ございますでしょうか。それでは質疑応答を踏まえつつ、1項目ずつ委員会の評価について皆様の意見をいただきながら決定してい

きたいと思います。

それでは評価シートの 3 ページにお戻りいただきまして、①の管理実施状況について、ページを跨ぎますが a 施設の運營業務、b の施設の維持管理業務につきまして、自己評価 3、市の評価ともに 3 という結果になっております。これを委員会の評価としてどうするかということになりますが、ご異論等なければ市の評価通り a b ともに 3 という評価としてよろしいでしょうか。(賛同の声) それでは①管理実施状況については a b ともに 3 とさせていただきます。

続きまして②の利用状況について、こちらは内容のとおりになりまして自己評価 3、市の評価 3 となっております。利用状況については多すぎたら多すぎたで苦情の対象になってしまい、増えればいいということではなく、ただ減ってしまうと収支状況の問題となってしまうのでその辺りの関係が難しくなってくるかなと思います。市の評価としては 3 となっていますが問題はないでしょうか。ご異論等なければ委員会の評価も市の評価通り 3 とさせていただきますがよろしいでしょうか。(賛同の声) それでは②利用状況についても 3 とさせていただきます。

③収支状況について、a の収入状況、b の収支状況について、内容は表のとおりになりまして、自己評価、市の評価ともに評価 3 となっております。こちらにつきまして、委員会の評価となりますが、ご異論等ございますでしょうか。

○委員：前提として、この収入の中には利用料収入というのはどこに入っていますか。

○道路公園担当参事：利用料につきましては市の収入という形で対応させていただいております。

○委員：先ほど収支の状況が悪くなった要因として民間の駐輪場ができたからとおっしゃっていましたが、その金額が収入にはねかえらないということであれば違う要因ではないかと思います。おそらくその点について十分に認識されていないということかなと思います。

○事務局：考えられることは、最近の最賃の上昇に伴う人件費の上昇が大きく占められると思います。収支状況のところでも、人件費が大きな支出となっていますので、最低賃金の上昇が大きく占めていると思われます。前年と比較しましても人件費は 200 万程度上がっていますので、圧迫してしまっているのではないかと思います。光熱水費については節電等に取り組んでもらっていますので前年比でも 40 万円ほど減少していますが、それらで圧縮しても人件費の上昇が影響しているのではないかと思います。

○委員長：ありがとうございます。日曜と祝日は職員さん不在ということですが、土曜日はどういう状況なのでしょう。人件費削減等であれば土曜日も不在にできるのではないかと思います。

○事務局：その辺りも考えながら運営できたらと思います。

○委員：指定管理料の積算にあたっても重要な情報となりますので支出の状況というところはしっかり分析いただけたらと思います。

○委員長：③の収支状況について他にありますでしょうか。それでは委員会評価につきましても市の評価と同様に3とさせていただけたらと思いますがよろしいでしょうか。（賛同の声）

それでは④の運営体制について、人員等の適切な配置、こちらは自己評価3、市の評価3ということで、内容は障害者雇用についてということになっております。この件に関して評価の判定の前に委員の方から何かございますでしょうか。ないようでしたら市の評価と同様に3とさせていただきたいですがよろしいでしょうか。

○委員：今日見せていただいた駐輪場は日曜日・祝日に職員がおらず、利用料は箱に入れてもらうということですが、他の施設も同じでしょうか。

○道路公園課担当参事：その通りです。

○委員：あんなものでいいのかと少し箱が気になりまして、金銭管理の方法として大丈夫なのかと思いました。神社のお賽銭でももう少し厳重なような気がします、防犯カメラもついていましたので大丈夫だとは思いますが、そこは人件費とのせめぎ合いなんですね。

○委員長：他によろしいでしょうか。それでは委員会評価としても3とさせていただきたいと思います。その他について独自の発意による指定管理者提案事業の取組状況ということで、こちらも内容通り自己評価3、市の評価3となっております。催事があるとコンビニのトイレの使用を禁止にしたりするところがあったりするのですが、その中で駐輪場のトイレを無償開放するということはその改善策の一つなのではないかと考えますので評価できるのではと思います。他に委員の皆様からございますでしょうか。

○委員：泉佐野の北の駐輪場でレンタサイクルとして赤い自転車が置いてあるのを知っているのですが、レンタサイクルの利用状況の報告というのは何もないのでしょうか。

○道路公園担当参事：そちらについては駐輪場を使っているのですが、実際にレンタサイクルを運用しているのが道路公園課ではなく別のところになりますので、評価には含まれていないということになります。

○委員：あれはどちらの課が運営しているのでしょうか。

○道路公園担当参事：まちの活性課です。

○委員長：ありがとうございます。他はよろしいでしょうか。

それでは⑤のその他について、委員会評価としては市の評価と同様3とさせていただけたらと思いますがよろしいでしょうか。（賛同の声）ありがとうございます。それでは6ページ、利用者の満足度調査等をご確認いただきまして、特になにかお気づきの点等無ければ評価の方に移らせていただきますが、この点に関しましてはよろしいでしょうか。それではお時間の都合もございますので、総合評価の方に移りたいと思います。市の評価としては3、所見欄のとおりですがクレームに対して誠心誠意適切にという少ないクレームの中で何かあったのかと思いますがどうでしょうか。

○道路公園担当参事：クレームがくることはほとんどないのですが、ごくまれにありますの

がこちらに記載してありますように三輪バイクを停めさせてほしい、大型バイクを停めさせてほしいというようなご要望があったりはしますが、市の方の条例もありまして、どうしても大きなバイクを停めてしまうとスペースを取ってしまいますので、そこは連絡があればお答えしております。

○**委員長**：あまりに混みすぎていたり、傷がついてしまったりというところを考えるとある程度余裕があった方が満足度は高くなるのかもしれませんが収入状況とのせめぎ合いになってしまうのかなと思います。非常にクレームも少ないというところで市の評価としては3としていますが、委員会評価としましても特にご意見等なければ同じように3としますがよろしいでしょうか。（賛同の声）ありがとうございます。それでは同じように3とさせていただきます。

それではこれもちまして、「泉佐野市立自転車等駐車場」の評価を終了とさせていただきます。ありがとうございます。

○**道路公園課担当参事**：ありがとうございます。

【泉佐野市立文化会館】

○**委員長**：それでは三番目となります「泉佐野市立文化会館」の評価を行いたいと思います。それでは説明の方をお願いいたします。

○**事務局**：「泉佐野市立文化会館」の説明となります。続いて、「資料3」の「評価書一覧表」上から3番目、「資料4」の7ページ～12ページ「泉佐野市立文化会館」の評価シートと「資料5」の「評価点の主な理由」の3ページを合わせてご覧ください。また、「資料6」では3段目の表が泉佐野市立文化会館のもので、こちらをご参考にしてください。

この施設については、平成18年度から指定管理期間がはじまった施設で、今回の外部評価は3回目となります。指定管理期間は令和4年度～令和8年度の5年間で、以前から同じ指定管理者である「一般財団法人 泉佐野市文化振興財団」が生涯学習センター、佐野公民館、長南公民館、日根野公民館も併せて管理運営を行うこととなっております。今回の評価にあたっては、施設の性質で分けて、文化会館で1つの評価シートを作成、そして後ほどでありますが、生涯学習センター・佐野公民館・長南公民館・日根野公民館の4館で1つの評価シートを作成という形で、2つに分けての評価とさせていただいております。

全体として、自己評価と市の評価の不一致箇所は「収支状況」の「a収入状況」と「b収支状況」で市の評価が自己評価より1ポイント低くなっております。それでは個々の項目を説明いたします。

資料4の7ページから8ページにまたがりまして

①a 施設の運営業務では、貸館業務だけでなく、様々な自主事業を実施しており、11ページ下段のアンケートでも「大変良い」、「良い」を合せて98.4%、(2)貸館アンケートの全体の項目で「満足」、「やや満足」を合せて97.9%と非常に高い満足度であることから、自

己評価・市評価ともに「4」としております。

①b 施設の維持管理業務では、法令・仕様書に基づき保守点検や警備・清掃業務など適切に実施されており、また、職員間や業者との連携により、市民の声に対応すべく、より快適に過ごせる環境整備に配慮した施設管理に努めている点、また、植栽の一部剪定や施設周辺のゴミ拾いなどできるものは自ら行い経費の節減に努めていることから、自己評価・市評価ともに「4」としております。

9 ページにうつりまして

②利用状況では、資料 6 にもあるように新型コロナウイルス感染症が落ち着いてから回復傾向にあるが、コロナ禍前までの利用人数に届いていない状況であることから、自己評価・市評価ともに「3」としております。

③a 収入状況では、多くの自主事業を実施したことによる事業収入の増があったものの、コロナの交付金や利用料金収入の減があった点を考慮し、自己評価は「4」となっておりますが、市評価では 1 ポイント下げて「3」としております。

③b 収支状況では、利用料金等の収入の減があったものの、物件費等の支出を抑えたことにより、昨年に引き続き黒字決算となっており、指定管理公募提案に基づき、黒字額の 2 分の 1 の清算を行っております。しかし、資料 6 にもあるようにコロナ禍前までの収支額に届いていない状況であることから、自己評価は「4」となっておりますが、市評価では 1 ポイント下げて「3」としております。

10 ページにうつりまして

④運営体制では、文化会館、生涯学習センター、佐野公民館、長南公民館の 4 施設の経理を文化会館で一括管理するため、経理担当職員を 1 名増員し、効率化と経費節減を図っている点を評価して、「4」の評価としております。

⑤独自事業の取組状況では、地域文化の発展を目指したアウトリーチ公演の実施や、音楽家、美術家の発掘・育成・普及事業としてのコンクールの計画、若年層への P R 強化として、ホームページのリニューアルやフェイスブック、エックスによる情報発信の開始など、利用者に対するサービスの質の向上に努めているとして、自己評価・市評価ともに「4」としています。

12 ページにうつりまして

下から 2 段目、①市の評価は、7 項目中 4 項目で「4」の評価、3 項目で「3」の評価となりまして、平均値の整数値として、総合評価は「4」となります。所見欄のコメントですが、読み上げますと、「感染症防止対策の新たな指針に基づき、安全で安心して利用できる事業運営を行いつつも、様々な有観客事業の実施や、施設の利用機会並びに利用料収入の回復に取り組み、すべての主催事業を中止や延期をすることなく実施した。収支については、燃料費や委託料の高騰により収支を圧迫したが、経費の見直しや縮減に努め黒字決算となった。近年では、「ソノリゴ（イベント系サブスクリプション）」や「キャッシュレス決済」の導入、会員数が 1,500 名超と順調に伸びている「izuMeetS（いづみーつ）」の立ち上げな

ど、これまでの「経験と実績」を源泉としながらもその時代時代の変化への対応力と創意工夫をもって取り組み利用者アンケートでも好評であることを評価する。また、開館 30 周年を向かえるにあたり更なる利用者を増やす独自の取り組みに期待する。」としております。以上が「泉佐野市立文化会館」についての説明となります。

○**委員長**：ありがとうございます。ただ今の説明が終わりまして、全般的な質疑等に入らせていただきたいと思います。委員の皆様からご質問等ございますでしょうか。30 年を迎えるとは思えないくらい清潔感のある快適なスペースが多く、しっかり維持されているなと思いました。その辺りは評価したいなと思っております。個々の項目での質問となると思うのですが、利用者の数がコロナ前までの水準に戻っていないということなのですが、特に分母となる人口規模、近隣泉州地区の利用者は泉佐野地区の人が半数以上であるとアンケートに記載されているのですが、コロナ前までの利用者数に戻すというのなかなかハードルが高いと思うのですがどういった実情でしょうか。

○**事務局**：人口規模としましては泉佐野市は令和 2 年の国調では 10 万ちょっとぐらいだったのですが、現在の住基人口でいたい 9 万 9 千半ばくらいであると記憶しております。

○**委員長**：利用する方の年齢だと 70 代が一番多いということですので、80 代の回答者が少なくなっているところを見ると、利用した人の分布がおそらく現在 70 代の人が 80 代になっていき、かといって若い人たちの数が減ってきているので、以前の数まで戻そうと思っても難しいのではないかと思います。今後はそのような背景を踏まえたうえで評価していただくより正確な評価となるのではと思います。委員の皆様からは何か全般的なことで確認したいことなどございませんでしょうか。

○**委員**：直接関係があるかはわかりませんが、施設の周りの雑草の管理について、建設当初は綺麗にされていたが、両側に池があり真ん中にメインの通路があるという構成になっているが、両側の植木が全て枯れてしまい、花壇と思われるところには草しか残っていない、この施設が泉佐野市の顔となっているのであればもう少し力を入れてもいいのではと思いました。

○**委員長**：施設の周辺の管理について教えていただけますか。

○**政策推進課担当参事**：指定管理者の方でシルバーさんに委託しながら行っているのですが、夏場になると体力や体調の問題も考慮して少し回数を減らしたり、冬場前に集中して行い冬を迎えるようにしたりと回数を制限しているところもあるのかなと考えています。あと記載のあるとおり、気づいた時には施設の職員や委託業者に草刈り等を行ってもらっているのですが、人手が必要なことであり全体的にという部分については行き届いていないのではないかと思います。

○**委員**：先週に韓国に連れて行っていただく機会がありましたので、その際に見た公園が綺麗に管理されていたので、帰ってきて少しがっかりしたというところがあります。

○**委員長**：その他委員の皆様からなにかございますでしょうか。

○**委員**：資料の 7、143 ページ、令和 6 年度予算が出ていますが、令和 5 年度予算額に

対して事業収入があくまで予算ですが増加していることについては何か現在進行形でわかる範囲でどんな状況かということは把握されておりますでしょうか。

○政策推進課担当参事：手元に資料がないので何とも言えないところではあるのですが、現状としては逐一状況等は聞いているのですが良いとか悪いとかということでは悪くはないということで聞いております。

○委員：収支状況については管理者が4だと言っておられて、実績ということなのだと思いますが、現在も含めて評価されているのであればその点も含めて評価しても良いのではないかと思います。

また素朴な質問になるのですが、次のページの144ページの下から二つ目の委託料支出というのがあるのですが、令和5年度は870万で今年度は1,580万を見込んでいるということについて、公演委託や舞台制作料とかかかっていますが、これは素朴にどのような支出なのでしょう。

○政策推進課担当参事：財団自体はイベントの企画・提案というものが主だったものになりますので、実際に行うとなれば舞台装置の操作等は委託事業になりますので、実施するイベントが多くなればなるほど委託費が高騰してくるという内容になっています。

○委員：現行自分のところで主催するという前提でいろんな経費がイベントごとにかさむということでしょうか。

○政策推進課担当参事：貸館規模では大ホールのところでもオーケストラピットを動かすといったことも全て委託業者になります。素人では動かせないためその都度委託業者をお願いする必要があります。

○委員：使用料は入るけれども同時に支出として出ていく金額もイベントごとに増えていけば併せて増えていくということになるのですね。多いからだめなのではなくて、多いということはそれだけ稼働しているということにもなりますからね。

○政策推進課担当参事：そこに入場料も伴ってくればということにもなります。

○委員：あくまで予算なので実際にどうなのかというところは把握しておられないということなのですね。わかりました。

○委員長：市の職員がスイッチを押せば動くということではなく、委託業者を呼ばなければならないということなのですね。

○政策推進課担当参事：舞台装置の委託業者さんがいらっしゃいますので今日見ていただいた大ホールも上下2通りありますので、そういう舞台装置も全て委託業者さんが手作業で行うことになっています。

○委員長：今であればワンタッチで作業が完了するということもあるのかもしれませんが、30年前の施設ですのでそういった難しさがあったのだと思います。他によろしいでしょうか。それでは質疑応答を踏まえて1項目ずつ委員会の評価について皆様の意見をいただきながら決定していきたいと思います。

それでは評価シートの7ページにお戻りいただきまして、①の管理実施状況のa施設の

運營業務、b施設の維持管理業務について、こちらが自己評価が2つとも4、市の評価もともに4という判定となっております。①に関して何かご意見等ございますでしょうか。

○委員：素朴な疑問ですみません。レストランがあるということに驚いたのですが、レストランは委託しているのでしょうか。直営しているのでしょうか。

○政策推進課担当参事：委託です。

○委員：経営的には問題なくできているのか、それとも業者は変わったりしているのか。

○政策推進課担当参事：一時期設立当初は一度や二度変わったのですが、現在は安定して経営できております。

○委員長：他の項目に関して何かご意見等ございますでしょうか。評価内容を踏まえて委員会の評価にもつながってくるところだと思いますが市の評価4ということに対して何かございますでしょうか。特にないようでしたら委員会としてもともに4という評価で行かせていただきたいと思いますと思いますがよろしいでしょうか。（賛同の声）ありがとうございます。では4とさせていただきます。

続きまして9ページの②利用状況について何かございますでしょうか。こちらは自己評価、市の評価ともに3となっております。この内容については記載の通りとなっております。戻りつつありますがコロナ前の状況には至っていないという状況を鑑みて3となっておりますが、これに対して委員会として何かご意見等ございますでしょうか。

○委員：利用者は山手の方にある施設のため車で来ることが多いのでしょうか。

○政策推進課担当参事：場所的にはそうですね。

○委員：日根野などの最寄り駅から来るとするとバスになると思います。コミュニティバスなどの利用となると思いますが、その辺りの利用者もおられるのでしょうか。

○政策推進課担当参事：少ないとは思いますが。

○委員：その辺りは先ほど話にもあった通り高齢化が進む中で自分で動けないような方について、送り迎えがある方はいいのですが、そういうところの考え方というのは何か将来的に検討されていますでしょうか。

○副市長：マイクロバスが公園の周りを動けばいいのですが、いつやるとなかなか不規則なものになりますので主催者側がしていただかないと…我々がそれをやるということはまずないです。

○委員：強制ではないですがお願いベースで話をするというのは。

○副市長：本来は主催者側が考えるべきことで、先週の日曜日にふれあい交流会としてお一人でお住まいの方が集まってくれるのですが、皆さん送り迎えで来ていただいているような状況で、場所が場所であるだけになかなか交通に関しては不便なところではあります。ただ大きな催し物をした時には、車が渋滞するような状態ではあります但し駐車場は確保できておりますので来場者は主に車で来ていただくという状況になっています。

市が大きな主催をしようとしたときには、バスをチャーターしてピストン等行ったりしますが減多にないです。

○委員長：それは二十歳の集いとかですか。

○副市長：その時も大体は送り迎えされています。振袖の方が多いので親御さんが送り迎えしていることが多いです。

○委員長：他に利用状況の部分につきましてなにかございますでしょうか。特にないようでしたら市の評価通り委員会としても 3 とさせていただけたらと思いますがよろしいでしょうか。(賛同の声) ありがとうございます。それでは評価 3 とさせていただきます。

③収支状況について、a の収入状況、b の収支状況を併せてご覧いただければと思います。自己評価がともに 4 となっているのに対し、市の評価が 3 となっております。その理由は、先ほど説明のあった通り、コロナ前までの水準には戻り切れていないというところを鑑みて 3 という評価となっております。委員会としてのご意見等ございますでしょうか。ございませんでしょうか。それでは委員会としまして市の評価と同様に a b ともに 3 という判定とさせていただけたらと思いますがよろしいでしょうか。(賛同の声) ありがとうございます。それでは a が 3、b が 3 という判定とさせていただきます。

それでは 10 ページ④運営体制について人員等の適切な配置がなされているかどうかというところですが、自己評価は 4、それに対して市の評価も 4 となっております。内容ご確認いただきながら委員会としてのご意見等ございますでしょうか。

○委員：仕様書を上回った人員配置がされているからこれは自己評価が 4 というようなことになっているのでしょうか。こういった状況で 4 という評価になっているのか教えていただきたいです。

○政策推進課担当参事：仕様書と同じ体制ではやっているのですが、今は月曜日だけが休館日であとは 9 時～10 時までという体制の中でこの人数でローテーションを組みながら、しかも公民館の 4 館と文化会館、5 つをぎりぎりの状況で運営してもらっているのかなと思っております。あと大きなイベントがあれば、財団の方で有償ボランティアさんの登録を受けており、そこの協力も得ながらうまく運営してもらっているというところを評価しております。

○委員：努力を評価されているということですね。

○委員長：ありがとうございます。他に何かございますでしょうか。内容の一番下のところで正規職員の退職を受けて採用試験を実施したというところに関して、これは退職される方と新しく入られる方というのは切れ目なくという状況なのか欠員が出ているという状況になっていたのかどうでしょうか。

○政策推進課担当参事：引継ぎ期間ということで三か月だけかぶった状態でした。少ない人員ということで必ず引継ぎ期間は設けるようにしております。

○委員長：引継ぎも十分に行われたうえで適切な配置がされているということで自己評価、市の評価ともに 4 ということになっているのですね。他に何か委員の皆様からご意見等ありますでしょうか。それでは市の評価と同様、委員会の評価も 4 とさせていただきたいと思いますがよろしいでしょうか。(賛同の声) ありがとうございます。それでは④に関して

は4とさせていただきます。

⑤のその他について、独自の発意による指定管理者提案事業の取組状況について、こちらでも文章多いですが、そのような取り組みを受けて自己評価4、そして市の評価も4となっております。内容をご確認いただきながら、何か委員会として判定に対してご意見等ございますでしょうか。

○委員：友の会がいづみ一つという形に変わったことで、年会費が必要なくなり無料になったので誰でも入りやすい環境になったのだとは思いますが、反面、郵便物が手元に来ないので高齢の方がメールの登録をして見るといった形で利用が難しくなっているのではないかとということが一つ気になります。私たち世代はスマホを見たらすぐにチェックはできますが、高齢の方はいづみ一つに限らずインターネットを見てくださいと案内されても歳と共に難しくなってくるのではないかと思います。そのような面では、いづみ一つは良いやり方ではあり、会員数を増やすこともできるとは思いますが、高齢の方に対しては難しいですかという状況でなにかクレーム等はきていないのでしょうか。

○政策推進課担当参事：クレームの方は聞いてはいないのですが、メールの見方や使い方を財団の職員が直接窓口でお話ししながら説明を行い、ご理解いただいて去年度末で全員の方に移行していただいて友の会は解散、友の会自体が毎年のように100人近くが退会していく、自然消滅していくというような状態でした。大阪府内でもそのような状態が続いているところがほとんどでしたので、いづみ一つはメールでというところで岸和田市さんでも取り入れ、料金はあるのですが安くしたことでどんどん会員を増やしている。うちの方もいづみ一つで今も1,700人近く入会されていると聞いているので、ホールの利用を高めるためには致し方ないことかと考えています。

○委員：方向性は全然良いと思います。ただ不便になった方も反面いるのかなと思い、その対策はどのようにされているのか気になった次第です。

○委員長：今は年間3回泉の森ホールのチラシを出させていただいて、それ以外はペーパーで配ったりということはありません。あとは主催者側がチラシを配ったりという方法しかないのかなと思います。

○委員：市報等には掲載されていますよね。

○副市長：ただご年配の方でスマホを持っていない方へのお知らせは非常に厳しい状況になります。

○委員：スマホは持っているがメールはできないという方、スマホは持っているがメールアドレスを持っていないという方がご近所にいらっしゃいましたので、そういう状況であると実感しました。

○副市長：LINEはされているのですか。

○委員：LINEはいらっしゃるかもしれないですね。お孫さんや家族だと連絡が来るけどメールアドレスは持っていないみたいです。

○政策推進課担当参事：たしかに若い世代もほとんどメールをしないという時代にはなって

きていますので、泉の森でも YouTube や X、Instagram での発信という取り組みも始めています。そういうところは若年層にも高齢の方にも周知していきながら進めていきたいと考えております。

○委員：相対的に今の流れに合わせて情報発信しようというのはすごく努力されているなど評価します。

○政策推進課担当参事：やれることはしようという状態です。

○委員長：たしかに身近なところの活用というか、イベント等の情報を得ることや防災の対策等でも住んでいる自治体から連絡が来たりするため苦手な人も LINE だけは覚えてもらってという取り組みも大事かもしれないと思いながら聞かせていただきました。それではその他のところについてですが何かございますでしょうか。取組の内容がたくさんございますので捉えきることが難しいかもしれませんが、現状の市の評価は 4 となっていますが、委員会としても差し支えなければ 4 としますがよろしいでしょうか。（賛同の声）ありがとうございます。それでは⑤のその他につきましても、4 とさせていただきたいと思います。

それから 11 ページから 12 ページにかけて、満足度調査の結果が記載されておりますのでご確認ください、この件に関して何か委員の方からご意見ございますでしょうか。

○委員：アンケート調査の①満足度調査実施内容の(1)(2)ともに件数が記載されていますが、(2)のところに利用者アンケート回答数 60 件と記載があり、貸館の利用者が何人なのか、この評価シートではわかりませんが、この 60 件で十分な声は吸い上げることができているのかということが気になります。また 1 年間で 60 件というのは非常に少ないのかなという気がしました。あと(1)の公演アンケートについても、これも 1 年間というところで、これは利用者数は 9 ページの利用状況のところに書いてある施設利用者数の大きなところ、16 万人ほどおられる中の 2,300 件ほどということで、こちら少ないのではないかと思います。もっと声を聴いていただきたいというところと、②満足度調査結果概要のところのアンケートの年齢層を見ましても、比較的高齢の方の回答が多いというところで、若い方の声を十分に拾えていない状況ではないのか、今後は若い方からも声を拾えるようなアンケートの手法、LINE などを活用するということもあるでしょうし、そこについても指定管理者から提案を受けて発案していくのもいいのではないかと思います。

○委員長：それに対して何かよろしいでしょうか。

○政策推進課担当参事：アンケート 60 件はすごく少なく感じますが、来館した方の中でアンケートの存在に気づいた方のみ回答いただいている状況ですので、積極的に窓口でアンケートをお願いするということもしてもらおうかなと思いながら聞いておりました。

○委員：私はちなみに大阪市のドーンセンターという施設を利用したことがあるのですが、あそこでは一つの部屋を借りるたびに必ずアンケート用紙を鍵と一緒に渡されます。また違う部屋を借りる時にも渡されるという状態でしたので、鍵や何かと同じタイミングで渡せば回収が増えるのではないかと思います。

○委員長：ありがとうございます。他に利用者等アンケートに関しまして何かご意見等ございますでしょうか。

○副市長：我々も公演を聴いて、公演を観て帰る時にアンケートを書くということはなかなか難しいと思います。お金を払って観て、その後に用紙に書くというのは非常に厳しいかなと思います。極端な話、良かったと思ったら青いボールを入れてもらう等違うやり方をしないと紙に記入してもらうということは難しいかなと思います。ただ委員が仰るように会議室を借りたときに、借り終わった後にアンケートを書いてももらうことは可能だと思いますが、公演や舞台を観て一斉に帰る時にアンケートを書いてももらうというのは少し厳しい気はします。

○政策推進課担当参事：公演のアンケートも、先ほど副市長が言われたように民間の方が行っている公演の際にアンケートを書いてももらうのもなかなか難しいので、泉佐野市が主催、文化財団が主催というところの公演をメインにアンケート調査をしているということで、2,000 件ぐらいになっているというところなんです。逆に言うと偏ってしまう可能性もあるのかなと思うところではあります。

○委員：アンケートは紙で行うとなると集計も大変だと思います。最近であればデジタルツールも活用されており、リンク先からスマホでアンケートを回答できますので、そういったツールを活用されることも一つの方法なのかなと思います。休憩時間に入力していただく、帰る途中に入力していただくなど簡単にできる方法を取り入れることで回答数も増えていくのかなと思います。

○委員長：よく見るのが紙のアンケートがあってその上に QR コードがあって、どちらでも回答できますという状態にしておくとか多くの回答を集めることができるのかなというところと、実際に公開講座で行っているのが、先に紙を渡してしまっただけで帰る時に回収の箱に入れてもらったりしていますので、終わった後に呼び止めるというわけではなく、出して帰ってもらうということとはよくやったりしています。それともう一点なのですが、民間が主催しているイベントで、市の方から後援名義を取得しているものであれば頼みやすいとか、あまりそういうケースはないですか。

○政策推進課担当参事：イベントも収益性を伴わないものであれば市や教育委員会から後援名義を発行しておりますので、お願いすれば可能なのかなとは思いますが。

○委員長：頼みやすくなると思います。その他ご意見等いただければと思います。それでは少し長くなりましたが特によろしいでしょうか。

では最後総合評価の方に移らせていただきます。市の評価としては記載のとおり所見に基づいて評価は 4 となつてございます。では委員会の評価となりますが、市の評価に対してどうかというところでございますが同様にということによろしいでしょうか。（賛同の声）ありがとうございます。それでは委員会評価も 4 という判定にさせていただきます。ありがとうございました。これをもちまして、泉佐野市立文化会館の評価を終了したいと思います。

【泉佐野市立生涯学習センター・3 公民館】

○**委員長**：続いて 4 番目の議案に移りたいと思います。泉佐野市立生涯学習センター、佐野公民館、長南公民館、日根野公民館となります。それでは説明をお願いいたします。

○**事務局**：続いて、「資料 3」の「評価書一覧表」上から 4 番目、「資料 4」の 13 ページ～18 ページ「泉佐野市立生涯学習センター」の評価シートと「資料 5」の「評価点の主な理由」の 4 ページを合わせてご覧ください。また、「資料 6」では 4 段目の表が泉佐野市立生涯学習センター、他 3 公民館のもので、こちらもご参考にしてください。この施設は、平成 28 年 4 月から初めて指定管理を開始しており、先ほどもご説明しましたが、文化会館と併せたかたちで文化振興財団が指定管理を受けています。今回の評価では、この 4 館については社会教育分野の施設として 1 つの評価シートで評価を行っております。従いまして、この 4 館については、今回外部評価は 2 回目となります。自己評価と市の評価の不一致箇所は「収支状況」の「a 収入状況」で市の評価が自己評価より 1 ポイント低くなっております。それでは個々の項目を説明いたします。

資料 4 の 13 ページから 14 ページにまたがりまして

①a 施設の運営業務では、文化会館とも連携を図りながらアフターフォローにも努め、利用率や利便性の向上に努めている点、自主講座でも担当課と連携しながらミニコンサート等を開催し、17 ページ上段のアンケートにもあるように「大変良かった」、「良かった」を合せて 89.8%と高い満足であることから、自己評価・市評価ともに「4」としております。

①b 施設の維持管理業務では、日根野公民館以外の 3 館は築 30 年前後となり、経年劣化が著しい中で、優先順位を付けながら適宜維持管理を行っている。また、築年数の浅い日根野公民館も担当課と協議・調整を行いながら、適切な維持管理運営を行っている。文化会館から適時技術員の派遣等も行っており、適切な維持管理に努めていることから、自己評価・市評価ともに「4」としております。

14 ページから 15 ページにまたがりまして、

②利用状況では、資料 6 にもあるようにコロナ禍前には届かないが、近しい数字まで戻ってきている。前回評価等も勘案し、自己評価・市評価ともに「3」としております。

③a 収入状況では、大きな増加要因は指定管理料となっているため、自己評価は「4」となっておりますが、市評価では 1 ポイント下げて「3」としております。

16 ページにうつりまして

③b 収支状況では、昨年に引き続き黒字決算となったが、物件費・人件費等の上昇や事務所用パソコンの入れ替え等を行ったことにより、収支を圧迫しており、自己評価・市評価ともに「3」としております。

④運営体制では、4 館で 8 名、臨時嘱託員 10 名を配置し、女性センター窓口業務の受託に伴い、増員する等、適宜対応している。また、利用者へのアフターフォロー等にも努めていることから、自己評価・市評価ともに「4」としております。

16 ページから 17 ページにまたがりまして、

⑤独自事業の取組状況では、地域共生推進課との共催により、元気塾や健康ウォーキング等を実施した。また、生涯学習課と連携し、4 公民館においてスマホ講座を行った。市以外(明治安田生命)とも連携を図りながら自主講座のメニュー拡大に努めていることから、自己評価・市評価ともに「4」としております。

18 ページにうつりまして

下から 2 段目、①市の評価は、7 項目中 4 項目で「4」の評価、3 項目で「3」の評価となりまして、平均値の整数値として、総合評価は「4」となります。所見欄のコメントですが、読み上げますと、「新型コロナウイルス感染症が 5 類感染症へ移行した後、生涯学習センターや公民館での活動が活性化し、いずれの施設も前年に比べて利用が増加となった。各施設では、感染予防や老朽化した施設の保全に努めつつ、利用希望に対して公平に対応し、地域住民が気軽に文化芸術に親しめるような事業を展開していた。利用者の満足度調査でも、大多数が「大変満足」や「やや満足」という結果につながった。」としております。以上が「泉佐野市立生涯学習センター、佐野公民館、長南公民館、日根野公民館」についての説明となります。

○**委員長**：ありがとうございました。13 ページから 18 ページにかけての説明でございましたが、全般を通しまして、委員の皆様からご質問等ございましたらお願いいたします。

○**委員**：施設の維持管理業務が 4 の評価になっていますが、14 ページを読みまして、率直に何が 4 なのかというところがわからないのですが、市が 3 ではなく 4、良好ではなく優れていると評価している要素が何なのか簡潔にご説明いただければと思います。

○**生涯学習課担当理事**：生涯学習課の大引です。ありがとうございます。施設の評価自体 4 なのですが、これは泉の森ホールの管理運営と同じで一般財団法人泉佐野市文化振興財団が管理しているのですが、公民館のスタッフだけでは経年劣化等している施設の修繕が難しいところもありまして、ホールの施設管理をしてもらっているスタッフの方が公民館に出向いて簡単な修理を行ってくれたり、予算面の指定管理料でいきますと一般的に年間の修繕費は 30 万円ほどしか積み上げとして各公民館には入っていないのですが、文化振興財団の方で泉の森ホールの修繕料も流用しながら、突発的なものがあればこちらの方に予算流用していただいて、修繕したりしていただいたケースもあります。例えば受水槽等の入水バルブが壊れたことが長南公民館でありまして、入水バルブが壊れてしまうと次の日から臨時休館しないといけないような状況になるのですが、予算面について泉佐野市が処置するよりも早く、財団の方で全体的管理として予算流用し緊急修繕しておくのでということでお世話になったこともありまして、その辺りを加味して 4 という評価にしております。

○**委員長**：迅速な対応、従来の方法ではなく独自で取り組まれたということへの評価ということですね。

○**委員**：ある程度の設備なのでそういう老朽化も想定されることであるのですが、もともと予算がおかしいということもあるのでしょうか。

○生涯学習課担当理事：どうしても突発の事項というのはついて回るので、その対応をしていただいているということです。

○委員：ありがとうございます。

○委員長：他に委員の皆様から何か全体を通してのご意見等ございますでしょうか。私の方からですが、公民館の和室など施設の重なっている部分があったりしますが、そのすみ分けみたいなものはあるのでしょうか。

○生涯学習課担当理事：見学していただいた泉の森ホールの和室と生涯学習センターの和室と両方ありますが、生涯学習センターは社会教育施設なので、一般的にはクラブ利用や営利目的ではない体験型のお茶会や将棋のクラブに貸館しているような状況で、逆に泉の森ホールの方の和室は営利目的でも使用可能ですので、一日体験料をいただいた上でお茶の教室を開催するというのも可能にはなりますので、そういったすみ分けはできていると思います。

○委員長：わかりました。ありがとうございます。他に質問等ございますでしょうか。

○委員：貸館を行われているといったところで稼働していない部屋が日によってあると思いますが、その有効活用といったことはされているのでしょうか。

○生涯学習課担当理事：煩雑になってくるところがあるので夏休みだけになっているのですが、佐野、長南、日根野、生涯学習センターとあり、各館利用率のメリハリがありまして、利用の多い所と少ない所があります。全館平等にすることはなかなか難しい調整なのですが、夏休みだけ空いている部屋を子どもたちの自習スペースとして開放させてもらっています。そこは無料で開放させてもらっているのですが、通年行えるかといえば生涯学習センターや佐野公民館は利用率が高いので、予約を行う前に自習スペースとして開放すると告知してしまうと、空いていない日は自習スペースがない状況になったりしますので、夏休みは自習スペースの優先順位をある程度上げて、空いている日には開放することを行っています。

○委員：青少年の自習スペースや居場所を作るということは重要になってきていると思います。学力の向上ということが課題となっている中で、家ではなかなか勉強できない、外であれば勉強できるが町の中には自習スペースがない、だからカフェで勉強する、そうするとまた集中できない、という悪循環が起きていると思います。ですので、町の中に自習スペースがあると非常に良いのではないかと考えます。有効活用といったところと、青少年に対する対応といったところで、空いているからではなく最初から自習スペースを確保する、青少年に対するサービスということも念頭に置いて、どうしても高齢者向けの教室等がメインになってきていると思いますので、それだけではなく若年層の方にも対応いただけたらと思います。

○委員長：ありがとうございます。他にご質問等ございますでしょうか。それでは1項目ずつ委員会の評価について皆様のご意見をいただきながら決定していきたいと思います。

それでは13ページにお戻りいただきまして、①管理実施状況につきまして、a施設の運

営業務、自己評価、市の評価ともに 4 となっております。続いてページをめくりまして 14 ページ、b 施設の維持管理業務についてこちらも自己評価、市の評価ともに 4 となっております。この結果に関しまして、委員会として何かご意見等ございますでしょうか。14 ページの b 施設の維持管理業務の(3)のパソコンのところなのですが、買い替えをされておりますが、旧式というのは Windows のバージョンの話なののでしょうか。サポートがなくなった等でしょうか。

○生涯学習課担当理事：Windows10 のサービス終了がありまして、施設管理とか領収書管理とかを行うソフトとの兼ね合いもあり、セキュリティの面も含めてというところですよ。もう 1 年大丈夫なのですが、1 年前倒しで準備していただいたというところですよ。

○委員長：移行期が必要になってくるかと思います。1 年前倒しで行ったというところとセキュリティ対策にいち早く取り組むべきだというところに対して、それも踏まえての 4 という評価ですね。他に何かご意見等ございますでしょうか。

○委員：3.2 とかがあればいいんですが、普通のことのようない気もします。

○委員：4 というのは優れているという評価ですよ。通常通り業務されている状況であれば 3 ということですよ。

○委員：文化会館からの公民館派遣というのは良いことだとは思いますが、これも一つの団体が受託している兼ね合いで出るということですよ。

○委員長：同じ管理者が行っていることですからね。

○委員：一括にしないで指定を別々に二本立てしているものですよ。

○生涯学習課担当理事：指定管理自体は一括です。評価は別々になっています。指定管理料も一括です。

○委員：だとしたら尚更…それぐらいしてもらってもいいじゃないかという気はします。個人的には 3 でもいいような気はします。

○委員長：ご意見としてどうでしょうか。

○委員：担当課としては大いに助かった経験があるということは分かるのですが、優れているという評価になるのかなとは思いますが。老朽化している施設を管理するのは大変だということはあると思いますが、これを当てはめると他にもたくさんあり、どこも維持管理が大変ということになりますからね。

○委員長：利用者の安全面や快適性を優先した修繕に対してどう受け止めるかというところに対しての評価ですが、その他も含めてどうでしょうか。

○委員：皆さんの意見に合わせます。

○委員長：手も挙げづらいですよ。

○委員：皆さんが 4 であれば私も 4 とします。

○委員長：市の方からは何かありますか。繰り返しになるかもしれませんが。

○事務局：委員のおっしゃることも重々理解しております。担当課としてはどのような見解でしょうか。

○生涯学習課担当理事：おっしゃる通りだと思います。一体管理ということを狙って指定管理を出させてもらっているのは間違いなくて、また文化振興財団ありきというわけでもなくて、施設管理と職員の円滑なやり取り等そういった一体のところを狙って一体管理として指定管理を出しているところではあるので、おっしゃる通り施設の修繕も当然こちら側から行ってもらうのも、仕様書には記載がないにしてもそういうことを狙って指定管理を出させてもらっているのは間違いないかと思います。ただ先ほどの話ではないのですが、市としてはどうしても一定手続きが必要な予算は順序立てて古いものから、例えばエアコンを交換したりエレベーターを入れ替えたりということは優先順位をつけているのですが、どうしても突発のものが出てくるので、それが出てきたときにレスポンスよく臨時休館することなく維持管理してもらっているというところの部分の評価もあって、今まで4だったのかなと思います。委員のおっしゃる通り、それも含めて仕様として市として指定管理を出しているという話になると当然評価としては高すぎるような気もしています。

○委員長：評価ランクの確認になりますが、4の優れているというところか仕様書募集要項内容をやや上回ったという基準になっていまして、3は提案内容通りというところできて、やや上回っているというところに合致しているかどうかになります。

○委員：そうするとやや上回っているのかなと。

○委員長：他の委員の方はいかがでしょうか。

○委員：やや上回っているというところですね。

○委員長：私もそのように考えております。委員の皆様いかがでしょうか。

○委員：頑張っているということで。

○委員長：4とさせていただいてよろしいでしょうか。（賛同の声）ありがとうございます。それでは①のa bともに4という判定とさせていただきます。ありがとうございました。

②の利用状況について、こちらも14ページから15ページにまたがっておりまして、内容の記載のとおり、自己評価3、市の評価3という結果となっております。これに基づいて、委員会評価として評価結果に対して何かご意見等ございますでしょうか。なければ委員会としても3の評価とさせていただきます。大丈夫でしょうか。（賛同の声）それでは3の判定とさせていただきます。ありがとうございます。

それでは③収支状況について、a収入状況については記載のとおりで自己評価は4に対して市の評価は3となっております。16ページのb収支状況に関しては、自己評価3、市の評価は3として一致しているという状況でございます。aのところの関しては判定の数値が分かれているというところでございますが、これに対して委員会としてご意見等ございますでしょうか。指定管理者の評価4についての要因はなにかありますでしょうか。

○生涯学習課担当理事：基本的に社会教育施設なので、収入を大きく生み出すような施設ではないということ、ただコロナ前までの収入の状況までまだ追いついていないという状況ではありまして、なおかつ収入を生み出す施設でもないのですが、一定収入を得たことによってやや優れているという評価が指定管理者から来たのですが、指定管理の水準通りの

履行の収入ではないだろうかという判定で3としております。

○委員長：その辺りのギャップという説明でございましたが、市の判定通り3という委員会評価とさせていただきますがよろしいでしょうか。（賛同の声）ありがとうございます。それでは③収支状況については3とさせていただきますと思います。

続いては④の運営体制について、人員等の適切な配置がなされているかどうかについてですが、自己評価は4、市の評価も4となっております。この結果をもとに委員会の評価を決定しますが、この時点で何か質問等ございますでしょうか。特にございませんでしょうか。市の評価通り委員会の評価も4とさせていただきますがよろしいでしょうか。（賛同の声）ありがとうございます。それでは④運営体制について委員会の評価は4とさせていただきます。

それでは⑤その他についてとなりますが、独自事業の取組事業について、施設ごとの状況が記載されてございます。これに基づいて自己評価は4、市の評価も4となっております。

委員会としてのご意見等ございますでしょうか。17ページの(7)のスマホ講座については先ほどあったような、特に高齢の方を対象にしたものになるのでしょうか。

○生涯学習課担当理事：国から補助金がおりてきているデジ田の関係のデジタル活用の講座がありまして、その講座と市独自でデジタル推進が予算をもっている高齢者向けの講座があるのですが、その講座を用いて4館で6マス、一回の講座で一人三回、スマートフォンの連続講座を受けていただくようなものを行っております。それが市独自の分と国から補助金が出ているデジタル活用の分と両方行っておりますので、お一人の基準でいくと24講座受けられるような講座を開催いたしました。それを生涯学習課が全て調整させていただきますが、予算はデジタル、総務課のデジタル担当、国の総務省からおりてきているデジ活の分と、運営調整は生涯学習課ですのですが、各公民館で自主事業として行っているという風に割り振りしております。

○委員長：ありがとうございます。今後のことになるかもしれませんが個人的に気になるのが、受講者の方が聞いて終わりではなくて、追跡してどれくらい役に立っているかということを検証することなど国から補助金をもらっているということですが、そこまでは求められていないのですか。

○生涯学習課担当理事：報告は一応求められていまして、最初ニーズが重なって結構な人数が来られていたので前回の未受講者優先ということにしていたのですが、前回受講した方も使い方がわからなくなったのもう一度教えてほしいと受講に来られることがありまして、その拾い上げを現在行っております。その報告を総務省に行っていたり、デジタル担当と共有したりしています。

○委員長：もう一度来られる方は周りに気軽に相談できる人がいるのかいないのかで変わってきて、コミュニティを構築しにくい方のフォローも必要なのだと思います。それも今後の話になってくるかと思います。少し長くなりましたが委員の皆様から何かご意見等ござ

いますでしょうか。問題なければ市の評価と同様に 4 の判定とさせていただきますがよろしいでしょうか。（賛同の声）ありがとうございます。それでは委員会の評価としても 4 とさせていただきます。

17 ページの満足度調査の確認ということで、ご質問等ございましたらお願いいたします。

○委員：先ほどの文化会館と同じようにアンケートということになりますが、今回生涯学習センターと公民館の計 4 施設あると思いますが施設ごとにアンケートをしているのであれば施設ごとにどのような回答となっているのかがわかるように評価シートにも記載いたしたいと思いました。今はすべての総合的な評価しか記載されていないと思いますので、状況が十分にわからないと思いました。施設ごとのアンケートとして集計していただくと利用者アンケートの年齢層というところが高くなっており 50 代以上の方がほぼ答えていただいているというような状況ですので、そうではなく公民館といったところは青少年の方が必要な施設ですので、そういった方にもアンケートに答えていただくことが必要だと思います。

○委員長：ありがとうございます。他にご質問等ございますでしょうか。18 ページにも利用者意見等記載されておりますが、何かございますでしょうか。対応内容については⑧や⑨のように施設ごとに記載がありますが、満足度については合算しておりますのでその辺りの工夫をお願いいたします。満足度調査等に関してはよろしいでしょうか。それでは総合評価の方に入らせていただきます。こちらの所見は先ほどご説明のあった通りとなります。その結果評価は 4 となつてございます。委員会としても 4 でよろしいでしょうか。（賛同の声）ありがとうございます。それでは総合評価を 4 とさせていただきますと思います。ありがとうございました。

○生涯学習課担当理事：ありがとうございました。

○委員長：それでは以上で 4 件の評価を終えました。委員会のまとめ方について、事務局の方では何かありますでしょうか。

○事務局：それでは委員会のまとめ方についてご説明させていただきます。評価一覧表シートの各項目についての評価数値をご確認いただきましたが、委員会としての総合評価所見並びに委員会全体の総括のまとめにつきましては、本日いただいた委員さんのご意見をふまえて、委員長にご相談のうえ作成をさせていただきます。また、議事録に関しましては、少し時間をおいて、公表前にそれぞれの委員さんに確認させていただき、問題がないということでありましたら、初めて公表させていただくという段取りとさせていただきます。

なお、評価指針にもございますように、市の 12 月議会の行財政委員会で本日の委員会の概要をまとめて報告させていただきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

○委員長：事務局からの説明のように、本評価委員会の総括については、時間の関係から私にご一任いただくことでよろしいでしょうか。（賛同の声）ありがとうございます。皆様方

のご協力をいただきましたおかげで、本委員会を終了することができました。時間が少し予定を過ぎてしまいましたが何とか終わることができましたこと、感謝申し上げます。最後に真瀬副市長より閉会のご挨拶がございますので、よろしくお願いいたします。

○**副市長**：本日は誠に長時間に渡りましてありがとうございました。なお皆様からいただいたご意見につきましては事務局の方で取りまとめ、指定管理者の方に通知したいと思っております。今後の施設運営、管理運営に生かしていくようにとご意見頂戴しましたので、それを十分にお伝えして進めて参りたいと思っております。本日は誠に長時間に渡りありがとうございました。

○**事務局**：それではこれで、指定管理者制度評価委員会を閉会いたします。本日は皆様お忙しい中ありがとうございました。